

# 第5版はしがき

本書の第4版を2019年9月に刊行してからすでに3年が経過した。この間も、民法に関係する重要な立法や法改正が行われた。

民法の成年年齢を20歳から18歳に引き下げる改正法が2022年4月1日に施行された。成年年齢の引下げにより、これまで未成年者取消権によって保護されていた19歳、18歳の年齢層に対する保護をどうするのかという課題はなお残されている。消費者契約法の改正が行われ、一定の手当がされたが、それでも十分ではない。

所有者不明土地問題に対応するための民法（相隣関係、共有、相続など）・不動産登記法の改正が行われ、嫡出推定制度を対象とする親子法制の改正も成立した。本書が対象とした読者層への法学教育の重要性がさらに高まることになろう。

こうした立法の動向を踏まえて、必要なかぎり、それに対応し、また判例や資料等を最新のものとするために、第5版を刊行することにした。本書がこれまで通り、読者に受け入れられることを期待している。今回の改訂にあたっては法律文化社の野田三納子さんに大変お世話になった。この場を借りて心からお礼を申し上げる。

最後に、本書の編者の一人である潮見佳男教授が本年8月にご逝去されたことをお伝えしなければならない。同年7月にズームで開催された編集会議で今後の方針について話し合ったが、それが最後の機会となるとは思ってもいなかった。まさかの訃報に驚き言葉を失った。故人のご冥福を心よりお祈りする。

2022年12月20日

中田邦博  
松岡久和